

第1回 府中市総合計画市民検討協議会開催結果（要旨）

- 1 開催日時 平成23年12月10日（土）午前10時～午後0時15分
- 2 開催場所 府中市役所北庁舎3階第1・2会議室
- 3 出席委員 60名（公募市民37名、公募職員23名）
欠席委員5名（別紙各部会報告書のとおり）
- 4 出席職員等
野口市長、吉野政策総務部次長、古森政策課主幹、堤原政策課主査、
吉川政策課理事、河野政策課主任、パシフィックコンサルタンツ㈱・
（齋藤氏、山口氏、北村氏）
- 5 傍聴者 2名
- 6 議事日程

（1）依頼状等の伝達

依頼状（公募市民委員）及び発令通知書（公募職員委員）の伝達を机上配付にて行った（なお、欠席委員5名については、12月12日に自宅配付）。

（2）市長挨拶

このたびは、府中市総合計画の策定にあたり、市民検討協議会の委員として、ご協力をいただきますことに、心からお礼申し上げます。

総合計画は、府中市の将来目標を定め、その目標を達成するために市政の基本的な施策を明らかにし、計画的な行財政運営を行うために策定するものです。今総合計画は、平成26年度を初年度とした重要な計画であり、25万市民の皆様がいつまでも、住むことを誇りに思えるような、府中らしさを盛り込んだ計画にしていきたいと考えています。

また、今検討協議会は、初めての試みとして市民の皆様と職員が一つのテーブルで、忌憚なく意見交換を行いながら、部会別に今後の市政に対するご意見、ご提案を提言としてまとめていただきたいと考えております。

長期間に渡る協議会ですが、これからの市政の指針となる新しい総合計画の策定に、ぜひご協力をいただきますようお願いを申しあげ、あいさついたします。

（3）委員紹介等

事務局より本日の委員出欠状況の報告を行った。委員65名のうち60名の出席があるため会議は有効に成立。

次に、会議の進行を諮り自己紹介の後、次第に従い議事を進め、担当部会別でのグループワークを開催した後に全体会を再開し、その中で会長、副会長を選出していきたいこと、会議の終了は正午を予定していることにつき了承を受けた。委員紹介等については、名簿順に従い各自紹介を行い、その後、事務局職員等を紹介した。

(4) 会議の公開について

府中市情報公開条例に基づき、市が行う各種会議は公開を原則としていること、傍聴人の取扱い、会議開催結果等について説明した。本会議においても公開すること、傍聴人の取扱いは基本的に資料4の通りとすること、会議開催結果は全体会の開催結果（要旨）と、各部会報告書をそれぞれ作成することについて了承された。

（傍聴者2名入室）

(5) 資料説明

資料1～8までを説明し、その他資料は参照していただく旨を説明。

(6) 第6次府中市総合計画の策定について

資料5～7に基づき事務局より説明を行った。

質疑内容については、次のとおり。

（委員）グループインタビューの開催において、協働のパートナーとして期待されたグループとあるが、どのようなグループなのか。

（事務局）平成24年度の実施を想定しており、今のところ具体的な団体は決まっていますが、子育て中の方の団体、老人の方の団体、働く世代の方の団体等を想定しており、今後精査して決めていきたいと考えています。

（委員）委員の任期について、口座振替の委任状に平成23年12月1日から平成25年7月31日となっているが相違ないか。

（事務局）口座振替の委任状の表記に誤記があり、平成24年7月としていただいたものとして、市で訂正をいたします。

（委員）市民の意見を聴く会の開催ということが資料6に書いてあり、説明では一緒に参加してほしいとのことだが、詳細を説明してもらいたい。

（事務局）市民の意見を聴く会は、資料のと通りの日程にて各文化センター等で開催する案となっており、主催及び説明者として市職員が参加します。日程のご都合がつけば委員の皆さんにも参加いただき、直接市民の方々の声を聞いていただければと考えています。

（委員）実施場所が多数あるが、地域に所属している人はそこに出てほしいということなのか。

（事務局）自宅の近くでも結構ですし、日程が合わなければ他の会場でも構いませんので、是非ご参加頂きたいと考えています。

(7) その他

①グループワークの進め方について

グループワークの進め方等につきコンサルタントより、資料8に基づき説明を行った。質疑内容については、次のとおり。

（委員）第6次総合計画を検討するにあたり、コンサルなどが入るとこの

ような進め方になると思うが、どのような意見を出せば良いか皆迷うと思う。もう少し前に資料を出していただけると良かったのではないかな。

(事務局) 資料が大変多いため、1回目からすぐ意見を出すのは難しいと考えます。本日は皆様の内容をお伝えし、グループワークもまず1回行って、職員と市民の方との雰囲気づくりをしていただき、2回目以降の議論につながるよう進めていきたいと考えます。資料については、今後検討にあたり必要なものをなるべく事前に用意し、送付してまいります。

質疑の後、各部会毎に「まちづくりの基本理念の見直し」「都市像の見直し」について、グループ討議を実施。グループ討議終了後、各グループ毎に検討結果の発表を行った。各部会の発表内容は次のとおり。

○健康・福祉部会

まちづくりの基本理念の見直しでは、追加すべき内容やキーワードとして、「安全」、「長く住み続けられる」、「幸福感」、「持続可能な」、という4点が挙げられた。また、分かりにくい等の理由で見直す内容として、「人間の尊重」という言葉が難しくイメージしづらいので、イメージしやすい言葉に置き換えた方が良いという意見が出た。具体的な見直しの案として、「心のつながりを大事にする」といった言葉の方が良いという意見があった。その他では、「まちづくりの基本理念」というものが、市民に広く浸透していなく、インパクトのある基本理念の方が良いとの意見があった。

続いて、都市像の見直しとして、追加すべきキーワードや内容という点で意見が多く出た。一方、現行の都市像で良いのではとの意見も出た。その他追加すべきキーワードとして、「未来」、「歴史・文化」、「平等なまち」、「魅力のあるまち」、「まちづくりではなく人づくり」という言葉が挙げられた。その他、文化財、自然、大企業のつながりが不十分に感じるので、つながりがイメージできる言葉が入れば良いという意見もあった。また、「利便性と生活文化の調和」という意見もあった。「健康な都市」との意見もあり、具体的には薬物等が広がらないような都市としての健康さという意味であるとのことであった。その他、「次世代につながる」というキーワードも入れたほうが良いとの意見もあった。

○生活・環境部会

基本理念として、「心のふれあい」、「日々一人ひとりのつながり」、「絆」が理念としては相応しいのではないかな。前回の総合計画にある「人間の尊重」は市役所的という意見やもう少しだけ「一人ひとりを大切にできるような府中市」が基本理念として良いのではないかなという意見があり、それに伴い、市民一人ひとりが生きがいをもてる、働く喜びをもてるよう

な基本理念が相応しいのではないかと考えた。

また、都市像と基本理念が一緒になってしまうが、市民一人ひとりの触れ合いだけでなく、市民一人ひとりの個性・個人を育てられる都市像、あるいは、どうしても市役所が主体になりがちだが、市民と行政が協働してつくれる府中市という提案もあった。さらに、「緑が豊かな府中市」という言葉が前回の総合計画にあるが、多摩川を始めとした身近な自然を残していこうという都市像、またいつも言われるが、他市に比べれば歴史があるので、改めて考える必要があるのではないかと考えた。歴史があることで府中市民一人ひとりが誇りを持てるような都市像が良いという意見や、安心安全という意見もあった。人口増というテーマも都市像として盛り込んではどうかという意見もあった。

府中市はまだ人口が増えており、それによって、新しく来られた市民と今まで在住している市民の間に差が生じているのも否定できないので、そのことも考える必要があるのではとの意見があった。その中で、情報共有という言葉が都市像の一つとして挙げられた。新しい市民と今まで在住している市民に伝わる情報に差があってはならないこともあり、情報の共有も都市像の一つとして考えられるのではないかと考え盛り込んでいる。

○文化・学習部会

基本理念について、「交流・絆」、「市民参画」、「府中市というまちの誇り」、「安心して住める暮らし」という4つのキーワードが挙げられた。「交流・絆」については、世代を越えて知り合う、助け合うということ、次の世代に人から人へつなげるということ、市民同士が支えあって生きていくということの意味している。「市民参画」については、「共助出来るまち」というキーワードが挙げられ、行政と市民が一体となってまちづくりをしていくという意見があった。

その他、「文化・学習」という部会であることから、施設等を活用して市民が共に生活する、保育所や小学校に通っている子供たちに芸術文化を身近なものにしてもらいたいという意見があった。「誇り」というキーワードでは、府中市が誇れる「歴史」、「緑」、「人の心」を主旨に、誇りに思っ住み続けたいまちにしていきたいという意見が挙げられた。

最後に「暮らし」については、子どもからお年寄りまで健康で安全安心に暮らせるまちづくりをしていきたいという意見が出た。この4つのテーマに基づいて、部会でキャッチフレーズを付けることとした。まず緑や文化や芸術・歴史を含め、総合的な意味合いを含めて「憩えるまち府中」、「共に生きる」「市民参画」の部分につなげていく。

次に、協創・協働のまち、若い世代へつなげる、ずっと住みたい府中という意見が出た。これらの都市像をつけても誰も知らないのはもったいないので、市民が思い浮かべる方法としてPR力が必要と考え、マスコット

キャラクターや有名人などで広報できれば良いという意見が出た。

○都市基盤・産業部会

基本理念、都市像について思うところを発言してみようと考え進めた。メンバーには観光を専門とする人や地域で活躍している人がいて、様々な意見があった。まず幸せに暮らせるのが大前提ではないか。また、府中市のコミットを尊重して、家族、近所、まちのつながりについて尊重していくことが基本理念ではないか、このことが最終的に人間の尊重につながると良いとまとめている。具体的な内容として、府中市にとって愛着を持っている、住み良いまち、新しいものをつくる、古いものを残す、緑を豊かなものにすると挙げている。その中で、情報の共有があればより加速していくのではないかなどが挙げられた。

また、府中市として世代間を越えたつながりが重要ではないか、横のつながりの他にも過去と現在、未来とつなげることが重要ではないか。魅力あるまちを大切にすることが発展につながるのではないか。今ある観光資源、歴史、自然、産業を発掘して魅力あるまちにし、それを起爆剤として、行きたいまち、住みたいまち、集まってくるまちになるのではないか。府中市は他市に比べて個性が埋まっており、発掘していくまちづくりをしていくことが都市像につながり産業が活性化し、地域のつながりがまとまっていくのではないかと意見があった。

○行財政運営部会

まず、始めに「まちづくりの基本理念」から議論をした。追加すべき内容として、震災の影響もあり、「安全」、「災害に強い」、「減災」、「絆」が挙げられた。加えて、府中市らしさを活かす視点として、「歴史と伝統」との考え方が入れれば良いのではとの意見があった。

また、「市民が主体」という言葉を「市民が協働」という言葉に変える。「支え合う地域社会」、「住み続けたいまち」というキーワードも挙げた。分かりにくい点として、「人間性の尊重」や「みんなに優しく」をもっと具体的にしたほうが良い、「優しく」というのも行政側から押し付ける優しさではなく、住民同士の中で優しさを互いに伝え合うという関係が望ましいとの意見があった。

その他として、まちづくりの意義についてももう少し議論しても良いとの意見があった。理由としては、内容がしっかりして、まちづくりとしての考え方の土台があってから言葉を精査すべきだという考えからである。災害の際にも隣に住んでいる人が誰か分からないと助け合えないが、ソフト面からハードを考えるとという発想が行政にも市民にもなかったので、コミュニティからハードにつなげる仕組みづくりが今後のまちづくりには必要であるとの意見があった。まちづくりに対して一人ひとりの市民が考えて意見を出す。そのためには小さなコミュニティでなければいけないとの提

案があった。今では25万人を誇る都市だが、元々は小さな町であり、小さなコミュニティから意見を一人ひとりが考えて発信することが大切との意見もあった。

しかし、顔が見える関係づくりに際して、隣と付き合うことが面倒と考えている人がいたり、生活リズムや経済状況が異なるので、行政だけでは賄えない。市民の方が権利の主張に加えて義務についても積極的に役割を果たすことが重要であるとの意見があった。若い方にも、地域とのつながりが重要と認識してもらえれば、少しのきっかけで広まるのではないのかとの意見もあった。

最後にその他として、後期基本計画資料の内容は立派だが、どう市民にアピールして提供するか工夫が必要であり、例えば概要版はもっと広く配付してはどうかとの提案もあった。

②会長、副会長の選出について

会長、副会長の選出について諮ったが、意見がなかったため、事務局から案として各部会から1名選出していただき、その方々の中から会長を選出するという方法はいかがかと提案した結果、異議がなかったため同方法で選出を行った。

その結果、全体の会長は行財政運営部会の小川暁男委員、副会長には健康・福祉部会の菅野修逸委員、生活・環境部会の大崎清見委員、文化・学習部会の山内啓司委員、都市基盤・産業部会の森田敏雄委員が選出された。

(会長及び各副会長より挨拶あり)

③依頼書の伝達について

吉野政策総務部次長から小川会長に依頼書の伝達を行った。

また、各委員に依頼書の写しを配付し、事務局より朗読を行った。

(依頼書の朗読)

④連絡事項

ア、委員謝礼に関する口座振替委任状等の提出をお願いした。

イ、次回以降の開催日は次のとおり。

第2回 平成24年2月 4日(土) 午前9時30分～

第3回 平成24年2月18日(土) 午前9時30分～

第4回 平成24年3月10日(土) 午前9時30分～

ウ、後日の広報紙で、総合計画市民検討協議会委員の選任について掲載する予定である。

エ、今後の会議の開催通知等は会長名で通知させていただく。

オ、会議の際は車での参加は控えていただく。また、毎月第2・第4土

曜日の休日開庁以外の開催日は、西側玄関が出入口となる。

また、次回の検討協議会の日程については、平成24年2月4日（土）午前9時30分に開催することとし、閉会した。

（ 以 上 ）

※配付資料

- 資料1 府中市総合計画市民検討協議会設置要綱
- 資料2 府中市総合計画市民検討協議会委員名簿
- 資料3 事務局について
- 資料4 府中市総合計画市民検討協議会の傍聴について
- 資料5 第6次府中市総合計画の策定に伴う検討体制の整備等について
- 資料6 第6次府中市総合計画への市民意見の反映について
- 資料7 総合計画市民検討協議会等の日程について
- 資料8 市民検討協議会における検討について
- その他 第5次府中市総合計画後期基本計画書、平成22年度総合計画に関する市民意識調査結果、ふちゅうガイド（府中市の地図）